

2025年 11月29日 土

13時30分～16時

港区立生涯学習センター  
101号室

港区新橋 3-16-3 (JR新橋駅烏森口から徒歩2分)

定員

25名 (先着順)

参加費 (材料費等)

一般の方 . . . . . 3,000円

港ユネスコ協会会員 . . . . . 2,500円

※11月21日(金)正午以降はキャンセル料として  
参加費全額いただきます。

受付期間

10月1日(水)～11月8日(土) 必着

※入金確認を以って受付完了です

申込み方法

お申し込みは、ホームページから

- ①いけばな体験 ②氏名 (ふりがな)
- ③電話番号を記入してお申し込みください。

内容

- いけばなの歴史・哲学の説明
- 講師によるデモンストレーション
- いけばな (自由花) の体験

※道具の無料貸し出し

※花材はお持ち帰りいただけます。

(お持ち帰り用の袋は準備します)



- ◆JR/山手線・京浜東北線「新橋」駅下車 烏森口から徒歩3分
- ◆地下鉄/都営三田線「内幸町」駅 A1出口から徒歩6分
- ◆地下鉄/都営浅草線「新橋」駅 6番出口から徒歩4分

日本の伝統文化 実演と体験



中村 正和氏

池坊中央研修学院 研究員

華道家元池坊のいけばな教授者教育機関である池坊中央研修学院の研究員を務め、本部講師として全国各地の華道教授者等に指導する傍ら、浅草東本願寺池坊教室を主宰。2010年、2016年には全米いけばな特派講師としてそれぞれ3カ月間、アメリカ・カナダ各地でいけばな指導にあたった。公益財団法人日本いけばな芸術協会評議員。

●池坊の歴史ーいけばなは池坊から始まりましたー

聖徳太子の創建と伝えられるいけばな発祥の地、京都の六角堂(紫雲山頂法寺)。初代住職は遣隋使として中国に渡った小野妹子が務めたといわれています。六角堂の池のほとりに住む代々の住職が朝夕仏前に花を献じており、いつしか池坊と呼ばれるようになりました。

室町時代の文献である『碧山日録』には、1462年に池坊専慶の花が見事であると京都中の評判になった記録が残されています。仏前供花は、鑑賞の花、おもてなしの花となり、人から人へと伝えられて脈々と現代に息づいています。

●池坊のいけばなー枯れた花にも華があるー

室町時代に池坊専応がいけばなの理念を確立し、華道が成立しました。その理念とは、単に美しい花を鑑賞するばかりではなく、草木の生きてきた背景、命の輝きを重視し、花をいけることによって悟りに至るといえるものです。池坊では満開の花ばかりが美しいのではなく、未来を感じさせる蕾、雨露風雪により朽ちた枝葉にも美しさを見出しています。

お申し込み・お問い合わせ先

港ユネスコ協会

〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3 港区立生涯学習センター3F

お問合せ・お申し込みはホームページからを推奨します。

港ユネスコ協会 [検索](#) ※websiteが更新されました。

TEL : 03-3434-2300

Eメール : m-info@minatounesco.jp

受付時間/火～金曜日(祝日を除く) 午前10時30分～午後5時

ユネスコ活動に参加してみませんか? **会員募集中!**

